

## 第5回岡谷市基本構想審議会

# 会 議 録

### 【出席者】

#### ○委員（12名）

有賀 利恵子委員、内海 一嘉委員、太田 博久委員、木下 敏彦委員、小池 修次委員、  
武井 幸子委員、竹澤 幸男委員、西澤 賢委員、新田 隆史委員、藤森 すず子委員、  
御子柴 健朗委員、横内 文雄委員

（※欠席者…太田 深穂委員、小林 妙子委員、薩摩 建委員、佐藤 一樹委員、  
中山 昇委員、濱 章義委員、林 賢司委員、計7名）

#### （事務局）

企画政策部長	岡本 典幸
総務部長	藤澤 正
市民環境部長	城田 守
産業振興部長	木下 稔
建設水道部長	小口 浩史
企画課長	仲田 健二
地域創生推進課長	小平 寛
危機管理室長	伊藤 雅章
市民生活課長	白田 研一
環境課長	今井 康貴
工業振興課長	原 尚彦
商業観光課長	山田 勝由紀
ブランド推進室長	日岐 充利
農林水産課長	小林 隆志
土木課長	宮本 秀幸
都市計画課主幹	内山 朋信
企画課主幹	芳沢 幸祐
同主査	藤森 大悟

# 第5回岡谷市基本構想審議会 会議録

令和5年11月21日（火）  
午前9時30分～午前11時30分  
市役所 9階 大会議室

## 1 開会

### ○市民憲章唱和

## 2 会長あいさつ

皆さんおはようございます。大変寒い中、またご多忙のところを、本審議会にご出席いただきまして本当にありがとうございます。

本日は第5回目ということで、本年度の予定でいきますと後半に入ったわけでございます。何か先が見えてきたようで嬉しく思います。

答申に向けて、ぜひ一緒に頑張ってくださいますが、よろしくご協力をお願いします。

## 3 会議事項

### 第5次岡谷市総合計画後期基本計画（案）について

#### （1）基本目標：人が集い、にぎわいと活力あふれるまち

#### （2）基本目標：安全・安心で、自然環境と共生するまち

副会長（司会）	それでは、これより次第3の会議事項に入ります。 ここからの進行は会長をお願いいたします。
会長	それでは、議事を進行させていただきます。 本日の会議事項は、第5次岡谷市総合計画後期基本計画（案）についてです。 今回は基本目標ごとに説明を受け、政策ごとの質疑としてまいります。 （1）基本目標：人が集い、にぎわいと活力あふれるまち について事務局より説明をお願いします。
仲田企画課長	（1）基本目標：人が集い、にぎわいと活力あふれるまち 資料：第5次岡谷市総合計画後期基本計画（案） （資料に基づき、P101～P117まで説明）
会長	それではまず、政策7 産業の振興 計画（案）102ページから108ページについて、質問・意見ありましたらお願いします。
委員	103ページで、まず成果指標の部分ですけれども、目標の部分が1年間の単年度比較という形になっております。 これが本当にどうなのかというところですが、施策の性格にもよると思うんですが、経済政策の場合は、例えば5ヵ年の複数年の比較の方がいいのではないかと思います。 あと、後ろの方でも年間の販売数といったところの目標値もそうですけれども、経済の状況によって、単年度比較が正しい指標になるかどうか

	<p>ていうのは、少し疑問だということです。</p> <p>目標値はもうこうして決まっているということであれば、結果として、複数年を比較するというような形で、成果確認をする必要があるのではないかと思います。</p>
<p><b>木下産業振興部長</b></p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>産業の部分は委員さんご指摘のとおり、外部要素、社会性とか国際部分といったいろんな部分が絡んでくると思います。</p> <p>これまで同様に終了時というようなところに目標を置いていますが、いただいたご意見を参考にまた検討させていただければと思っております。</p>
<p><b>委員</b></p>	<p>ぜひ検討をお願いしたいと思います。</p> <p>続いて、103ページの一番上に、未利用地や工業適地の掘り起こしということで、企業の流出防止だとか企業誘致に努めるというところですけど、この辺は、例えば流出が起きた場合だとか、企業誘致が整った場合、掘り起こしをということでしょうか。</p> <p>それとも、日頃からそういう形で、ある程度確保する目安を立てているというような形になるわけでしょうか。</p>
<p><b>原工業振興課長</b></p>	<p>いつもありがとうございます</p> <p>未利用地、それから工業適地の掘り起こしという部分では、岡谷市内は平らな土地が少ないということもありまして、広い土地を確保することが非常に難しい状況です。</p> <p>しかしながら、現状、市内で未利用地としてまだ活用できるような部分というのは、我々も市内を歩きながら、また航空写真等を使いながら、調査をかけているほか、宅建協会等とも協定を結びまして物件の確保を行うなど、そういったところの掘り起こしというのは日々行っているところでありまして、そのような部分をご用意しながら、企業さんの方に当たりをつけて、こういった土地があるといった紹介など活動はしているところであります。</p>
<p><b>委員</b></p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>岡谷の場合、例えば大企業を誘致する上で、広い土地がどのくらい期待できるかというところが、なかなか難しいと思うわけですがけれども、ただどんな企業を誘致するにしても、ある程度そうした目途を立てておいて、すぐに用意ができるというような状況は整えておく必要があると思います。</p> <p>あと、産業集積がこの地域、岡谷に限らず諏訪地域の一つの岡谷、諏訪らしさというところになるかと思えます。</p> <p>産業が集積しているという点では、創業支援ももちろん大事ですけども、廃業に対する防止といいますか、後継者の確保ですとか、そういったところにさらに重きを置いてもらえればありがたいなと思います。</p> <p>実際に、工業振興課の方もここ3～4ヶ月の中では、そういったアンケートも取りながらやっているわけですが、そういったところに積極的にアプローチしていただいて、例えば経営者が60歳を過ぎているのに、後継者がまだ決まってないということが3分の2ほどあるという実態もあるわけですので、そういうところに積極的にアプローチしていただいて、そして、例えばM&amp;Aというようなものに対する支援ですとか情報の提供というのを積極的に進めてもらえればと思います。</p>

会長	そのほかに質問等ありましたらお願いします。
委員	106ページの農業の関係で、現状と課題、そのとおりだと思うんですけども、今岡谷に農家というのは何軒あるのでしょうか。
小林農林水産課長	106ページの資料・データというところに、総農家数の推移ということで出ておりますけれども、これは諏訪地方の統計要覧から取っているものでして、元は農林業センサスという5年に1回の調査になります。 これを見ますと、令和2年度になりますが、総農家数は517軒ということになっており、この基準は、10アール以上の田畑をやっている方というようなことになります。 さらにこの中で、69軒が販売農家というような内訳になっております。
委員	岡谷で農家をやっているという人たち、実際に農業で生活しているというのはどのぐらいでしょうか。
小林農林水産課長	特に、この販売農家というところが大きなところとなりますが、専業農家兼業農家も含めて、生活の主な部分を農業に置いているという件数になっております。
委員	文章の細かいところですけども、106ページ、現状と課題の2つ目に、農業の形態は比較的小規模な農家が大半を占めており、というところがありますが、ここの比較的がどこにかかるかわかりにくいと思います。 ここの比較的は取ってしまっていないのではないかと感じました。 小規模な農家が大半を占めているというのが事実なので、この比較的というのはどのように理解すればいいか少し文章を読んでいて疑問になったところです。 この項目は、岡谷で専業農家がどのくらいいるのかというあたりの支援策になると思います。 農業、漁業というものもクローズアップしていかなければいけないけれども、実際は少し小さい部分になってしまうと思います。 実際に、農業で飯を食べている、いわゆる生活をしている人がどのくらいいるのかという背景をお聞きして、それに対して市がどのようにやっているのかというあたりを知ってみたいかというわけです。
小林農林水産課長	比較的という言葉ですが、これは今おっしゃるように紛らわしいとらえ方をされるかもしれませんので、ここについてはまた考えたいと思っております。
委員	もう1点、主な取組の3番目にあります森林経営計画について、岡谷市では昨年度どのくらい計画を採用できましたか。
小林農林水産課長	令和4年度は、モデル地区としまして、湊の花岡地区をやっております。そこでの意向調査を行ったというような状況です。
委員	継続されているのでしょうか。
小林農林水産課長	はい。

委員	わかりました。ありがとうございます。
小林農林水産課長	<p>それから先ほどの話の関係ですが、一定の生計を立てられる農家、それから意欲のある農家であります認定農業者が、今現在、岡谷市内に、法人・団体が2軒、個人が18軒、合わせて20軒ございます。</p> <p>また、いただいたご意見は考えていきたいと思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。</p>
会長	そのほかに質問等ありましたらお願いします。
委員	<p>同じく107ページですが、主な取組が前期に書いてあることとほとんど同じです。</p> <p>KPIが前期とあまり変わらないように感じますが、KPIの値の考え方がよくわからないのでお尋ねします。</p> <p>①の遊休農地面積について、今回、目標と現状が同じ値です。それが取組に関してどういうKPI、評価になるのかがよくわかりません。</p> <p>②民有林年間間伐面積について、前期は69.7haを130haにするという目標でありましたが、今回は終了時の目標が5倍ぐらいになっていて、取組を何かしないとこうならないと思っておりますけれども、その辺の詳しいことを教えていただければと思います。</p>
小林農林水産課長	<p>まず、遊休農地面積につきましては、同じ数字を目標値としているということで、確かに前期の部分につきましては、およそ1haずつ遊休農地を減らしていこうという目標がありましたが、現状を見ますと、いろんな政策もやっているわけですが、とてもその状況に追いつかないということで、現状を維持していくということ、基本的に目標値として置き換えたということでもあります。</p> <p>それから民有林年間間伐面積につきましては、今までは年間130haを間伐していこうということを目標値に置いておりました。</p> <p>ただ、年間見ますと、およそ100ha前後で推移しているところでございますが、最終的に5年間で、これだけの施業をしていこうということで、およそ年間120haになります、それを5年間ということで5倍し、600haというところを目標値として設定しております。</p>
委員	わかりました。5年間累計と追記していただければと思います。よろしく申し上げます。
小林農林水産課長	<p>承知しました。</p> <p>また、そちらの方も修正していきたいと思っております。</p>
会長	<p>施策7-2の基本構想で「暮らしに彩りと潤いがあふれ、「楽しい」があるまちをめざします。」とあり、本当に同感でございますが、それが基本計画ではどうやって取り組んでいくのかお伺いしたい。</p> <p>もう1点は、昔西山田村というのがあって、その財産を中屋、中村、横川の3区で管理しております。</p> <p>そこに100ha弱の山がありまして、県行造林ということで70年育林をしてまいりました。</p> <p>それは本来なら40年とか50年で引き取る話を、当時材木の価値が低いということで延ばしてきて、70年経って、いよいよ県が我慢できないから引き取れとなった。半々の利益で、これを引き取ったらいくらになる</p>

	<p>かと計算をしてもらったら、10万円にならないのです。</p> <p>山が悪いということもあるんですけども、有害鳥獣の問題もあります。カラムツやなんかはシカに小さいうちに食べられてしまい、大きくなっても製品にならないのです。</p> <p>今、有害鳥獣はクマが全国的に大変な話題になっておりますけれども、この辺のところで、クマを殺してはいかんとかって騒ぎにならないように、しっかりした方向性を持たせてもらった方がいいと思います。そのシカ、クマといった有害鳥獣に対して、どうやっていくかをお伺いしたいと思います。</p>
<p><b>山田商業観光課長</b></p>	<p>ただいま、現行岡谷市商業活性化計画というものがございまして、これが今年度末をもって終了することから、現在、第2次岡谷市商業活性化計画の策定を進めているところでございます。</p> <p>現行計画では、本市の商業の将来像としまして、『人が集い、暮らしに彩りと潤いがあふれ、「楽しい」があるまち』、こちらを掲げております。</p> <p>第2次の計画につきましても、この将来像は引き継ぐ予定で今考えております。</p> <p>その中で、お買い物をするなら岡谷、楽しむなら岡谷、お店を出すなら岡谷、お店を続けるなら岡谷ということ 키워ワードとしまして、主に商店街の魅力向上でしたり、消費者満足度の向上、商業組織の連携強化に取り組んでまいりたいと考えております。</p>
<p><b>小林農林水産課長</b></p>	<p>鳥獣被害の状況でございますが、年間で、例えばニホンジカですと、目標の捕獲頭数を530頭ということでやっております。そのほか、イノシシだとかハクビシンとかもおりますけれども、ニホンジカが一番多い状況であります。これは令和5年度から7年度までの目標値として持っているところであります。</p> <p>今、この施策の中に鳥獣被害防止の対策というようなことも入っておりますので、会長さんがおっしゃられたようなことは、大綱の方に、そのような言葉も付け加えながら、大きなところでうたっていくことかなと思っておりますので、そのように検討していきたいと思っております。</p>
<p><b>会長</b></p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>そのほかに質問等ありましたらお願いします。</p>
<p><b>委員</b></p>	<p>102ページ、103ページをお願いいたします。</p> <p>私の思うところで恐縮ですが、102ページに、経営者の高齢化が進んでおり、事業の継続に向けた対応が必要となっておりますと記載してございまして、103ページの真ん中に、事業承継支援ということに記載していただいておりますが、今回後期基本計画がこれでスタートして終了年度の5年後を想像した時に、相当数の経営者さんが高齢化されて、まさに岡谷のものづくりの基盤産業の核となる会社さんが、どんどんなくなっていってしまうのではないかと、金融団としても日々非常に懸念しているところでございます。</p> <p>そういった中で、各企業さんが事業承継というのは主体的に考えていくべきものであって、なかなかどういったご支援をとというのは難しいのですけれども、今の産業の集積、それから技術、こういったものをやはり岡谷で続けていくためにも、ぜひ各関係機関と連携しながら、大きなテーマととらえて、ぜひご協力をさせていただきたいと思っておりますし、行政としましてもそちらのご支援に対して、ぜひ積極的に対応いただければというお</p>

	願いでございます。要望でございます。
会長	<p>そのほかに質問等ありましたらお願いします。</p> <p>それでは、次の政策8 地域資源の活用 計画（案）110ページから113ページについて、質問・意見ありましたらお願いします。</p>
委員	<p>113ページ、観光の振興ですけれども、観光情報の発信のところ、訪日外国人観光客に対応した情報発信と誘客活動に努めますとありますが、具体的なちょっとイメージができないものですから、もしお考えになっているところがあればご教示いただきたいと思います。</p>
山田商業観光課長	<p>現在、観光パンフレット等を外国語、英語、中国語で作成をして配布をしているところでございます。</p> <p>また、岡谷市の観光協会のホームページ上では、英語バージョンのパンフレットをダウンロードできるように情報提供しているところであります。</p> <p>インバウンドの関係につきましては、諏訪地域観光連盟、そちらの中でインバウンド部会というものをご用意しております、そちらでいろいろと共同で事業を進めております。</p> <p>例えば、修学旅行の誘致ということで、海外へ行ってPRをしている機会もございますので、そういったところで積極的な情報発信に努めてまいりたいと考えております。</p>
委員	<p>ありがとうございました。</p>
会長	<p>そのほかに質問等ありましたらお願いします。</p>
委員	<p>関連して質問させていただきます</p> <p>私も他の市町村に比べて外国人の方が岡谷に来ることがあまりないように感じております。</p> <p>それで、JNTO（日本政府観光局）という外国人観光案内所カテゴリーというのがありまして、県内では長野、松本しかカテゴリー2になっていません。</p> <p>カテゴリー2にすれば、それだけで外国人の気を引くと思うのですが、そういうお考えはないでしょうか。</p>
山田商業観光課長	<p>やはり長野と松本のカテゴリーが高いというのは、長野には善光寺、松本には松本城、そういった大きなシンボルがあります。そういったところで成田空港を利用するお客様の滞在地の中では、やはり長野、松本というのは必ず入ってくるというように伺っております。</p> <p>諏訪湖周のものになりますけれども、岡谷市には諏訪湖というものがございますので、そういったものは一つのシンボルになってくると考えています。</p> <p>これから湖周のサイクリングロードも全面開通しますし、少し延びておりますが、スマートインターチェンジも完成することを見据えまして、諏訪湖周を使ったものをぜひPRをしていながら、カテゴリーが上がるかどうかというのは何とも言えないですけれども、積極的にPRはしていきたいと考えております。</p>
委員	<p>ありがとうございます。</p>

会長	<p>諏訪、茅野を含めて連携した活動が重要なのかなと思います。諏訪も茅野もまだカテゴリー1のままなので、3市のうちのどこか1つでもカテゴリー2を目指していただくようなことがあれば、だいぶ変わるのかなと感じております。ぜひお願いします。</p> <p>そのほかに質問等ありましたらお願いします。  それでは、次の政策9 働く環境の充実 計画（案）114ページ、115ページについて、質問・意見ありましたらお願いします。</p>
委員	<p>114ページ、現状と課題で、従業員数は回復傾向にあり、と2番目にあつて、本市の従業員数の推移ということで、資料・データのところにグラフがありますが、平成28年から令和3年の5年で、21,500人が25,000人にぐっと増えております。</p> <p>文章もそうですが、こんなにぐっと増えるものかなと少し疑問にあつたのですが、出典の確かさとか含めて、この数字どおりに捉えていいものなのか教えていただきたいです。</p>
原工業振興課長	<p>平成28年から令和3年のデータは経済センサス活動調査、事業所・企業統計調査ということで、その中で実際に公表されている数字になります。</p> <p>この25,056人という部分は、業種としては製造業、建設業、教育学習支援等、あと医療の関係も含めまして、業種は幅広く含まれておりまして、その中でも製造業という部分が増えておりますが、減っている部分でいきますと、飲食業、宿泊業というのが減っており、それ以外の部分は結構大幅に増えている結果となっております。</p> <p>コロナというところもありまして、そういった部分の業者さんの人が減ったかなという部分考えられます。</p> <p>やはりこの地域、有効求人倍率も非常に高く、県内の有効求人倍率よりも高い状況であり、全国的にも高いということで、そういう部分では増えてきたというような状況です。</p>
委員	<p>わかりました。ありがとうございます。</p>
会長	<p>そのほかに質問等ありましたらお願いします。  それでは、次の政策10 移住・定住の促進 計画（案）116ページ、117ページについて、質問・意見ありましたらお願いします。</p>
副会長（司会）	<p>KPIの件で質問をさせていただきます。</p> <p>移住相談件数が96件ということで、変化を見ても、だいぶ相談件数が伸びているということなので非常にいいと思いますし、移住者の数も増えつつあるということでよろしいと思います。</p> <p>ただ、少し見方がわからないですけれど、62名の方が令和4年度に移住をされたということなので、ご夫婦だと考えて30件、お一人だと62人ですから、そうすると相談に来た人の中で、すごく乱暴に考えて、お二人だとすると相談のうちの60件ぐらい、それから全員がお一人だとすると30件ぐらいが、相談があつたけれど来なかった、まだ来られてないという方がいらっしゃるということになると思います。</p> <p>その中には、まだ継続中であつたり、考え中というような方もいらっしゃるかと思いますが、明らかに移住されないという決断をされたという方も中にはいらっしゃると思います。</p>

岡本企画政策部長	<p>その時に、どの辺がネックになったかというような聞き取りというか、理由の明確化というか、その辺のところは何かできていますのでしょうか。もしできていないとすると、ぜひしていただきたいと思いますし、できているのであれば、それが次の取組の具体的な策に当然反映されてくるということになろうかと思しますので、その辺のことを教えてください。</p> <p>ちなみに96件中62人ですが、世帯でカウントすると38世帯という状況でございます。</p> <p>私ども、昨年度から地域創生推進課という移住担当の課をつくりまして、積極的に東京圏また中京圏等に出向いております。</p> <p>先日も報道にありましたように、今移住の希望が一番多いのはやはり長野県ということがございまして、ブランドでいきますと諏訪地域でいけばやはり原村、富士見というところがブランドというような形で人気があるわけであります。</p> <p>そうした中で、私ども岡谷市も積極的にそういうところに参加をしまして、お話を聞いているという形であります。</p> <p>やはり移住には、いろんな条件があります。働く場所が必要だということ、住まいの関係、生活の面でいけば畑があった方がいいとかいろいろありますけれども、今私どもでやっているところでいけば、岡谷市の状況をお知らせしているというような形であります。</p> <p>そうした中で、全部聞き取れてはおりませんけれども、やはり畑を希望される方はどちらかというところだと原村だとかそちらの方に行かれていますのかなと思いますし、仕事といった場合には、岡谷市の方が工業の部分がありましたし、創業の支援もしているということで、来ていただいているという形であります。</p> <p>今現在取り組んでおりますけれども、またそういうところで移住につながったことについても原因を調べながら、進めていきたいと考えているところでございます。</p>
副会長（司会）	<p>はい。ありがとうございます。</p> <p>おっしゃるとおり1件1件、皆さん事情も違うと思いますし、世代によっても違ったりとかということだと思しますので、ぜひその辺はせっかくご相談いただいた方で生の情報だと思うので、積極的に聞き取りをしていただいて、具体的にその辺の内容をはっきりさせていくと、もしかすると、世代ごとにこういう世代にはこういう条件を具体策として充実させていけばいいとかというようなことも出てくるかもしれないと思います。</p> <p>ぜひそのような観点でお願いができればと思います。よろしく願います。</p>
会長	<p>そのほかに質問等ありましたらお願いします。</p> <p>それでは、議事を進行させていただきます。</p> <p>（2）基本目標：安全・安心で、自然環境と共生するまち について事務局より説明をお願いします。</p>
仲田企画課長	<p>（2）基本目標：安全・安心で、自然環境と共生するまち 資料：第5次岡谷市総合計画後期基本計画（案） （資料に基づき、P119～P133まで説明）</p>
会長	<p>それではまず、政策11 安全対策の推進 計画（案）120ページから125ページについて、質問・意見ありましたらお願いします。</p>

副会長	<p>121ページの防災の取組というところで質問させていただきたいのですが、行政と地域との連携ということで、市の職員の方は、担当地区とを作って、地域の方との接点をつくっているかどうかについて、少しわからないので教えていただきたいと思います。</p>
藤澤総務部長	<p>今、行政と地域の連携ということでご質問いただきました。 市といたしましては、平成18年の豪雨災害から、各地区に地域連絡員を2名決めておりまして、万が一、災害があった時には、各公会所に行きまして、地域の方と市との間の連携、情報提供を行うというのを含めて、今進めているところでございます。</p>
副会長	<p>ありがとうございました。 実は災害ではないんですけれども、私の家の裏に中山道が通っており、農業用水路も一緒に通っております。 大雨の時には、川が氾濫とまではいかないんですけれども、水位が上昇しまして、舗装はされていないので、採石が流されてしまいました。 私も何年も前ですけれども、区の役員をやっていたので、市の土木課にこういうことで困っちゃっているんですと相談したら、予算がないからそこまで面倒を見ることはできないと言われて帰ってきたことがありました。 それで、そのことを区や近所の方に話したら、そういうところに勤めていらっしゃる方が採石を寄付してくださって、それを敷いてありますが、いつまた流されてしまうかわからないという状況であります。 そういう地区の担当の方が市にいれば話しやすいということがありますし、予算がないでは済まされずに、上まで話を持っていくってくださるのではないかと思います、この質問をさせていただきました。 地区の担当の方がいるということなので、それを区の方にも周知していただいて、皆さんも何か困ったことがあったら、その担当の方から行政の方に入っていくというようにすれば、より良くなるのではないかと思います。よろしく願いいたします。</p>
藤澤総務部長	<p>今申し上げたのは、災害があった場合、地域連絡員というものを置いて、区と行政と色々な情報の連携をするということでございます。 地域で色々な困り事等があるかと思っております。その場合には、区を通していただいても構いませんし、直接担当課の方に連絡していただいても構いませんし、色々なやり方があるかと思っているところでもございます。 予算がないということではないと思っております、なるべく、区の方だとか、市民の皆様方の要望には応えていきたいということで、毎年この時期だとは思いますが、各21区の区長さんから市の方に、この道路を直していただきたいとか、水路を直していただきたいといった要望をいただいておりますので、そういったところの中で、段階的にやっているということでご理解いただきたいと思いますと思っているところでございます。</p>
副会長	<p>どうもありがとうございました。</p>
会長	<p>そのほかに質問等ありましたらお願いします。</p>
委員	<p>122ページで、防災訓練参加者数というところですが、防災訓練というのは区が主体として、今やっていると思います。</p>

<p>藤澤総務部長</p>	<p>でも区に入っていない方は市でどのような対応をしているか教えていただきたいです。</p> <p>今、区に入っていない方が少し多くなっておりまして、大体8割程度は区への加入をしていただいておりますけれども、残りの2割の方が区に加入をしていないというような状況であります。</p> <p>当然のごとく、市といたしましては、区に加入していただくための努力等をしておりまして、例えば、転入した場合は、市民生活課でいろいろなパンフレットを渡したりだとか、必要に応じて各区に連絡をしたりといった部分をやっております。</p> <p>区に参加していない方の防災訓練への参加ということになってまいりますと、基本的には状況の把握はしていませんが、122ページにもあるように、とにかく我々としては、自らの身は自ら守ることがもう最前提というように思っております。</p> <p>その中で一つとしては、各区で行います防災訓練への参加者を多くしたいということ、もう一つは、メール配信@おかや等の登録者数を増やして、災害から自分の身を守っていただきたいという考えを持っているところでございます。</p> <p>区に入っていない方をどうしようかという部分になってまいります。これは従来から課題になっているところでもございます。</p> <p>今は、YouTube等もあり、いろんなところで動画配信等もしている部分もあるんですけれども、我々としても、これは今、大きな課題とされているところでもございますので、どうやって区に入っていく方を増やしていくか、それも一つの大きな課題でありますし、区に入っていない方の防災訓練等をどう参加させていくかというのは、いろいろな課題を持っているところであります。いろんなところの自治体を聞きながら、対策を講じてまいりたいと考えているところでございます。</p>
<p>委員</p>	<p>わかりました。もう1点続けてですが、18歳から30歳の消防団の団員数ということで、今減少していて増やしたいということですが、実際消防団で勧誘に行きますと、親がみんな消防団は駄目ですという話が出るんです。本人には全然話が通らなくて、親がみんな断ってしまう、これは現実なんです。</p> <p>ですから、昔はお風呂の入浴券とかあったんですけども、消防団に対して、もう少し援助というか対策があった方が勧誘はしやすいのではないかと思います。</p> <p>現状だと、若い人を入れるには大変難しいと思います。どんな考えがあるかお聞かせください。</p>
<p>藤澤総務部長</p>	<p>消防団の団員数の関係でありますけれども、ここで少し減少傾向ということでありまして、目標値としましては、18歳から30歳の方を、84人から110人に増やしたいというようなことであります。</p> <p>消防団の勧誘につきましては、当然行政でも、また各区の分団のOBの方、幹部の方々がそれぞれ地域に回って、いわゆる加入の促進等をしているところでもございます。</p> <p>そういった中で、ここ数年で、火災があった場合の出動手当について、1日出動した場合は、8,000円にしてあるとか、年額の報酬については、従来は団員で申しますと、26,000円だった報酬を約1万円引き上げるといった処遇の改善も行っているところでございます。</p> <p>また、今は法被ではなくて、活動服というものも支給したり、またそれ</p>

	<p>に伴う作業着的なものもやっております。</p> <p>また、各種講習会というものがあまして、チェーンソーの講習会等も引き続きやっているということでもあります。</p> <p>話にもありましたが、ロマネットの入浴券については、昨年から終わらせていただいた部分があるんですけども、実は消防団員のサポートショップというのが57店舗あるんですけども、いろんなお店がございます。そこで消防団員でありますと、優遇、例えば少しまけていただいたりなどもやっているところでございますので、引き続き、消防団員の処遇改善に向けましては、消防団員の幹部の皆さんと協議をしながら、しっかりと対応していきたいと考えております。</p>
委員	<p>ありがとうございます。</p>
会長	<p>そのほかに質問等ありましたらお願いします。</p>
委員	<p>120ページ、121ページに、自主防災組織という言葉が何回か使われていますが、これは何を指すのでしょうか。</p> <p>ちょっと難しく感じてしまいますので、区では駄目でしょうか。</p>
藤澤総務部長	<p>この自主防災組織というのは各21区にそれぞれ組織された組織になっておりまして、我々は、区と自主防災組織はイコールではないと思っていますところでもございます。</p> <p>各区に自主防災組織を作っていただきまして、各区と市と協議をしながら、また連携しながら、もし災害等あった場合は、各区の方々も、ともに災害対策をしていきたいということの中で作った組織でございますので、今のところはこのような形で進めさせていただけたらと考えております。</p>
委員	<p>では、自主防災会というようにズバツと言ってしまいうけにいかないですか。組織というと難しく捉えてしまいます。</p> <p>我々非常事態の場合は、当然区の方に行って、組織的に動くのは自主防災会の規定で動くというルールになっているものですから、組織というとか、何か別にあるのかというように私は捉えたので、例えば括弧して区だとか、そういったようにわかりやすくできないものかなということでございます。</p>
藤澤総務部長	<p>わかりにくいというお話がございましたので、我々として検討させていただくということと、21区の区長さんとも意見交換しながら検討してまいりたいというように考えております。</p>
委員	<p>121ページの大規模な災害への備えというところで、流域治水、砂防、治山を含めたさまざまな対策を積極的に進めるというように書いてありまして、この辺は災害リスクの高いところを個別計画のところに落とし込んで、そして計画を進めていくという理解でよろしいでしょうか。</p>
小口建設水道部長	<p>直近の令和3年8月の災害でも、河川、特に山側の河川が氾濫しまして、土砂が下に流出して下流域で閉塞して、水害が起こったというような状況から、令和4年度から計画的に、河川災害防止対策事業と言いまして、河川の上流部の自然護岸の部分コンクリート等の構造物に改修する計画を年次計画的にやっております。</p> <p>現在、7河川を予定では7年計画でやろうと思っておりましたけれども、</p>

	<p>資材価格の高騰という部分がございます、なかなか延長を稼げないという部分がございますので、もう少し延びるかもしれませんが、まずはそういった河川の上流部の改修を計画的に行って、安全なまちにしていきたいと考えております</p>
<p>委員</p>	<p>ありがとうございます。 ぜひそういう形で計画的に進めていただきたいと思います。その施策展開のための個別計画というのがそれぞれの施策に対してありますけれども、これ全体に渡って、この個別計画に対しての成果指標というのは、また改めて設定されるわけでしょうか。</p>
<p>岡本企画政策部長</p>	<p>例えば122ページのところに、施策展開のための個別計画とありますが、計画の性格にもよりますけれども、目標値が立てられるものについては、それぞれこの個別計画の中でまた目標設定をしているものと、計画なんですけど目標設定が難しいものもありますので、その計画に応じて対応しているというところがあります。</p>
<p>委員</p>	<p>ありがとうございました。</p>
<p>会長</p>	<p>そのほかに質問等ありましたらお願いします。 それでは、次の政策12 環境保全の推進 計画（案）126ページから131ページについて、質問・意見ありましたらお願いします。</p>
<p>委員</p>	<p>環境の関係で127ページの主な取組にカーボンニュートラルがあります。 なかなか大変な部分なので、一つの課だけではとてもじゃないけれども抱えるような状況じゃなくて、本当に市民、国民全部がその方向性を取らなきゃいけない問題なんですけども、例えば103ページに工業の関係で、カーボンニュートラルという言葉があって、これは各企業さんもある程度担っていただきたいという部分だと思うんです。 いわゆる工業の切り口から、その企業に対して、環境の問題を考えてくださいということだと思うんですけども、ちょっと私の心配するのは縦割りはどうかというあたりです。 例えば、各課がありますけれども、同じ目標があるならば、いろんな関係するところはどのように連携をとって、実際できているのかということを確認して、そこら辺を127ページに、関係課連携を図り、とか入れていただくと、とても安心できるのですけど、いかがでしょうか。</p>
<p>城田市民環境部長</p>	<p>委員さんご指摘のように、当然、市民環境部、環境課だけではできない部分でございます。また行政だけでもできず、企業の皆さん、また市民の皆さん全員巻き込んでいかないと、カーボンニュートラル達成できないという部分、当然でございます。 そんな中で、特に庁内の連携という部分につきましては、施策展開のための個別計画というものがありますけれども、第4次岡谷市環境基本計画ですとか、地球温暖化対策実行計画というものがあります。 この計画につきましても、それぞれ策定にあたっては関係部署に関わる部分すべて入っておりますので、関係課と連携を図りながら、計画を立てております。 また、推進にあたっては実績等も各課から吸い上げながら、課題を汲み上げながら、年度更新していくということでございます。</p>

	<p>また、企業さん含めましては、例えば工業振興課を通じて、企業さんの動向、状況も把握をしながら、対応しているというような状況でございますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。</p>
<p>委員</p>	<p>連携をよろしくお願ひします。</p>
<p>会長</p>	<p>そのほかに質問等ありましたらお願ひします。</p>
<p>委員</p>	<p>施策12-2の自然環境の保全、128、129ページで二つほどありまして、1点目が、諏訪湖一斉清掃ですけども、私、2度ほど出たことがあります、その時、1,000人出たかどうかはわかりませんが、多数いらっしゃいましたが、出ている方は、ほとんどやることがないんです。これ1,000人を3,000人にしたからとって、環境に影響があるかっていうとそうでもないように感じております。</p> <p>例えば、やり方を工夫して、一斉じゃなくて分けるとか、重点項目を変えるとか、ぜひそういう検討をしていただきたいと思ひます。</p> <p>あと2点目です。ヒシ除去事業ですけども、128ページの方では、県や環境団体などが実施するヒシ除去事業などが行われておりって書いてありまして、129ページの自然環境の保全のところでは、ヒシ除去事業などによる諏訪湖の環境改善を図りますと書いてありますが、これはヒシ除去事業を県や環境団体に任せるといふことでしょうか。</p> <p>私、ヒシ除去事業にも1度だけ出たことがあります、環境団体がやるのは、はっきり言ってデモンストレーションです。</p> <p>市民の意識向上とかにはつながっていると思ひますが、本当にヒシを除去したいなら、市か行政かで事業としてやらないといけないと思ひます。その辺のお考えをお聞かせいただきたいです。</p>
<p>今井環境課長</p>	<p>1点目の諏訪湖清掃の関係ですが、人数を増やしたところでどうかというお話をいただきました。</p> <p>確かに諏訪湖のごみもかなり少なくなってきました。当初は大型のごみがあったりとか不法投棄があったりということで、徐々に改善してきていると思ひます。</p> <p>これも市民活動の一環が、諏訪湖を綺麗にしているということもありますので、そういう点からも皆さんに参加いただいて、身近な諏訪湖から環境を綺麗にしていくという意識向上に非常につながっているものと思ひます。</p> <p>また、現在大型ごみがなくなっているというお話をさせていただきましたが、実は小さなプラスチック、今問題となっておりますマイクロプラスチック問題、これもよくよく見てみますとかなりあります。</p> <p>これから諏訪湖清掃をやる時には、環境の意識、それとマイクロプラスチック、そちらの方も重点的に、皆さんに周知しながら、さらに環境の意識を高めていくという考え方でいきたいと思ひます。</p> <p>諏訪湖一斉清掃の参加人数だけではなくて、それぞれエコクラブとか環境セミナーという部分もやっておりますので、総合的に1年間通じて、環境の意識の向上というものをしているところでございます。</p> <p>2点目のヒシ除去の関係です。これは確かに市でやっているものは、環境啓発的なものが主となっております。</p> <p>大体1回で1トン程度の収穫をしているわけですが、やはりそれではとても追いつかないということで、県もだいぶ意識が変わって、今年もかなりのヒシ除去をしているところでございます。</p>

	<p>これも先ほどと同じように、市民団体が頑張っているいろいろ継続してきたという部分が、県を動かしてきているというところもあると思います。</p> <p>引き続き、県の方もヒシ除去に関しては、多くのヒシ除去をしておりますし、今後どのような方法がいいかという形の中で、実験的に、時期がどうなのか、場所がどうなのかということも検討を踏まえながら、ヒシ除去に対して、事業を進めていくという段階になっておりますので、よろしくお願いいたします。</p>
委員	<p>わかりました。ありがとうございました。</p>
委員	<p>諏訪湖のヒシの問題自体は、県の関係で市では手が出ないんです。私も10年もずっとヒシ取っていて、面白いので、1回出しましょう。ずっとやっているんですけど、確かに啓発事業なんです。</p> <p>あれは市民が一生懸命手でやっていますけれども、あれだけのものだから、ろくに取れないんです。県が一生懸命刈り取り船を持ってきてやっております。</p> <p>だから、おそらく我々がいろいろ言っても県に相談しなければ、これはできないというように我々は捉えています。</p> <p>私も年寄りだけど10年やっていますから、ぜひ1回来て、やってもらって、ボートに乗って落ちないようにやってもらうというのはいいと思います。</p>
会長	<p>126ページ、現状と課題の2番目、再生可能エネルギーの具体的な導入目標を定めるとありますが、時期、目標数値等の取組はどうなるのか教えてください。</p>
城田市民環境部長	<p>再生可能エネルギーの具体的な導入目標を定める、その取組ということでございますけれども、現在、今年度ですけれども、環境省の補助金を活用いたしまして、岡谷市の温室効果ガスの排出量の将来推計ですとか、再生可能エネルギーの導入の可能性などの調査分析を行います、再生可能エネルギーポテンシャル調査を行っているところでございます。</p> <p>これは、今後、太陽光ですとか、水力などの再生可能エネルギーをどのくらい、どのように導入していくのかということ等々の調査を行うということ、またその課題や施策等を洗い出すということで、本市の状況に即した温暖化対策を進めていくための基礎調査ということでございます。</p> <p>この調査に基づきまして、具体的な導入目標等を定めまして、令和6年度を予定しております、第5次岡谷市環境基本計画の策定、また、第2次岡谷市地球温暖化対策実行計画の見直しに、このポテンシャル調査の結果を反映していきます。</p> <p>その中で、具体的な数値目標等も定めていきたいと考えておりますのでよろしくお願いいたします。</p>
会長	<p>そのほかに質問等ありましたらお願いします。</p>
委員	<p>諏訪湖の観光に関わる部分ですけど、前は下浜のところはずっと渚でしたが、今は木が生えて見た目が悪いし、景観が良くないです。</p> <p>これは観光に来たお客さんに対しても非常にいい気分ではないと思います。</p> <p>前は渚だったところが、今は木が生えております。そこを何とか県の方で除去できるようにしていただけないでしょうか。</p>

小口建設水道部長	<p>委員さんご指摘のところですけど、確かに本当に自生樹木が生えて、非常に景観上よくないという形で、地域住民の方からもいろいろ要望をいただいております、私どもの方から管理をする諏訪建設事務所にその旨はその都度伝えておるんですけども、人手と予算がという部分で、なかなか手につかないというような状況です。</p> <p>ただ、あのままではよろしくないという部分ございますので、引き続き、県にはしっかり要望してまいりたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。</p>
委員	<p>よろしくお願いいたします。</p>
会長	<p>そのほかに質問等ありましたらお願いします。</p> <p>それでは、次の政策13 居住環境の充実 計画（案）132 ページ、133 ページについて、質問・意見ありましたらお願いします。</p>
委員	<p>132、133 ページの居住環境の充実のところですけども、前期の取組で、都市景観の創造という項目があったんですが、今回それが入ってないように思います。</p> <p>都市景観に関しては、もう重点項目ではなくなったのか、その辺をお聞かせ願いたいです。</p> <p>また、主な取組に都市景観は入っていないんですけど、133 ページの個別計画には、岡谷市景観形成基本計画があります。これは引き続き何か取組をやられているのか、その辺をお聞きしたいです。</p>
小口建設水道部長	<p>景観の部分につきましては、なかなか住民の皆さんの協力が必要だという形がございまして、今回、具体的な施策という部分でなかなか打てる部分が少ないということで計画から落とさせていただいております。</p> <p>ただ一方で、過去にも市が分譲した団地等は建築協定を結びまして、同じまち並みを作りましょうとか、あと、昔の湖畔若宮土地区画整理の区域内を今は湖畔若宮地区計画となっておりますけども、その部分につきましても、建物の高さの限度を定めたり、塀とか柵の高さ何メートルにしましょうというような、計画に配慮した一定の計画を持っています。</p> <p>したがって、引き続き、まちづくりと地域の住民の皆さんの意見を聞きながら、この景観形成基本計画に基づいて、景観に対する施策は打っていきますので、この中から落ちておりますけれども、しっかりやっていきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。</p>
委員	<p>ありがとうございます。</p>
会長	<p>そのほかに質問等ありましたらお願いします。</p> <p>（質問等なし）</p> <p>以上で本日の会議事項は終了になります。</p> <p>どうもありがとうございました。</p>
副会長（司会）	<p>会長ありがとうございました。</p> <p>それでは、全体を通して委員の皆様から何かありますでしょうか。</p> <p>（発言なし）</p>

<p><b>事務局</b></p>	<p>そのほか、事務局から連絡事項等ありましたらお願いします。</p> <p>まず1点目、お手元に、前回同様、岡谷市基本構想審議会 質問・意見 連絡票という用紙を配付しております。</p> <p>本日発言できなかった質問・意見等がありましたら、各回の審議会ごとに連絡票を作成しておりますので、こちらの連絡票でご報告をいただければ幸いです。</p> <p>提出につきましては、FAX、メールのほか、次回審議会のご出席の際等にお持ちいただいても構いません。</p> <p>2点目です。次回、第6回岡谷市基本構想審議会についてのご連絡です。お手元に開催通知を配付させていただいております。</p> <p>日時場所につきましては、令和5年11月27日(月)、午後1時30分から、会場は今回と同じ9階大会議室でお願いいたします。</p> <p>審議箇所につきましては、基本目標 快適な生活を支え、住み続けたいまち、計画案の135ページから144ページと、基本目標 みんなでつくる、確かな未来を拓くまち、計画案の145ページから162ページと、重点プロジェクト、計画案の62ページとなります。</p> <p>恐れ入りますが、審議箇所につきましては、事前にお目通しをいただきますようお願い申し上げます。</p> <p>なお、ご報告いただいております出欠席に変更が生じた場合、恐れ入りますが、事務局までご連絡をお願いいたします。</p> <p>3点目です。前回、第4回審議会の会議録を配付させていただいておりますので、ご確認をお願いいたします。</p> <p>事務局からの連絡は以上でございます。</p>
<p><b>副会長 (司会)</b></p>	<p>ありがとうございました。今の連絡事項に関して委員の皆様から何かありますでしょうか。</p> <p>それでは、閉会の挨拶を副会長お願いいたします。</p>
<p><b>副会長</b></p>	<p>それでは以上をもちまして、令和5年度第5回岡谷市基本構想審議会を閉会といたします。皆様、お疲れ様でした。</p>